

絵

8/28

本好きになってね

絵本大使ひろたあきらさん絵本の読み聞かせ会

絵本大使のひろたあきらさんによるオンラインの絵本の読み聞かせ会を町立図書館のおはなしの部屋で開催しました。ひろたさんは町出身のお笑い芸人で、絵本作家としても活躍されています（著書「むれ」「いちにち」）。読み聞かせの絵本は、今年4月に発売されたひろたさん2作目の「いちにち」と、ひろたさんおすすめの中から参加者が1冊選びました。参加者は朗読にじっくりと耳を傾けていました。ひろたさんは「新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインとなり残念です。また皆さんの前で直接、読み聞かせをしたいです」と話していました。



↑オンラインでの読み聞かせの様子



ひろたあきらさん➡



↑入賞作品が表紙のカレンダーを手に持つ岡島さん

切

8/31

り絵作品入選

第2回丹波アートコンペティション入選報告

芦谷区在住の岡島由紀子さんが兵庫県丹波市で開催された「第2回丹波アートコンペティション」の平面（壁面に展示する作品）の部で入選し、その報告のために町長を訪れました。岡島さんは、10年前から独学で切り絵制作をされています。入選した作品について、「制作期間は約4カ月で、横1.5メートルほどの大きさです。縁起物の龍と鶴の切り絵なので町民の人に見てもらえる機会をつくりたいです」と話してくれました。

備

9/4

えあれば憂いなし

幸田町総合防災訓練

震度6強の地震が発生したことを想定した幸田町総合防災訓練を実施しました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訓練実施規模を縮小し、役場での災害対策本部訓練と各地区集会所での避難所開設訓練を行いました。市場公民館では、聴覚に障がいのある人たちも訓練に参加し、コミュニケーションボードや筆談でやりとりをする様子が見られました。



↑災害対策本部訓練の様子



筆談でやりとりする➡
参加者（市場公民館）



↑ヤギにタッチ

か

9/17

わいい動物と一緒に遊ぼう

豊坂保育園 いちご動物園

移動型動物園のいちご動物園が来園し、ロバ、ヒツジ、ヤギ、モルモット、カメなどの動物とふれあいました。園児たちは遊ぶときの注意点を聞いた後、動物を抱っこしたり、キャベツやニンジンなどのエサやりを体験しました。モルモットやヤギをなでると「ふわふわであったかいよ。かわいい♪」という声が聞こえてきました。動物の大きな鳴き声にちょっぴり驚きつつも楽しいひとときを過ごしました。

実

9/21

りの秋 収穫の秋

幸田町特産品「筆柿」初出荷

町の特産品である筆柿の初出荷がJ A あいち三河幸田営農センター内の筆柿選果場で行われました。前日に収穫して選果場に持ち込まれた筆柿を選果ラインに乗せて、まずは人の目でチェックした後、↑選果場で行われた筆柿の選別近赤外線による光の透過量で柿の甘・渋を判別し、箱詰めを行いました。今年は生育が良好とのことで、14トン集荷し、約2500箱で出荷がスタートしました。町内では幸田憩の農園や道の駅 筆柿の里・幸田で販売されています。



↑筆柿の収穫風景

し

9/21

っかりお世話しているよ

里保育園 アイボお出かけ事業



↑アイボ かわいいね♪

ふるさと納税の返礼品になっているアイボを知ってもらうため、アイボお出かけ事業として、町内の小学校や保育園へアイボの貸し出しを行っています。10月上旬までは里保育園に貸し出しました。大喜びの子どもたちは里保育園で過ごす間、「わんこくん」と名付けました。年長児が犬小屋を制作したり、充電が切れて眠ったアイボに布団をかけてお世話したり、たくさん触れ合いました。なでると気持ちよさそうな表情をするアイボに園児は夢中でした。